



きらり輝き観光振興大賞

大野商工会議所が受賞 滞在循環モデル創出を評価

日本商工会議所は5月11日、「2025年度全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」の受賞商工会議所を発表した。大賞には大野商工会議所（福井県）の地域に短期滞在し、地元の文化などを体験する「大野型滞在循環モデル創出事業」が選ばれた。そのほか優秀賞には大阪商工会議所、きらり特別賞には長野、一宮（愛知県）、岡山の各商工会議所、奨励賞には白石商工会議所（宮城県）が選出された。

今回大賞を受賞した大野商工会議所の取り組みでは、滞在型の観光モデルをつくるため、同所が地域のハブとなり、体験事業者と旅行者をつなぐ仕組みを構築。日常的な営みを価値化する「大野微住（びじゅう）」ブランドを立ち上げた。旅行者を「地域住民」として迎え、寺社での座禅・写経、神職による講話、しょうゆ蔵での木樽（たる）発酵体験など、地域に根差

した本物の文化の体験を通して地域の魅力を感じてもらう。

主なターゲットは台湾や欧米の富裕層で、モニターツアーでは1人当たり約15～30万円と従来の平均消費額を大幅に上回る高付加価値化を実現した。収益は文化の継承に充てており、観光を通して地域の文化資源を経済価値へと転換させることで、持続性の高い地域経済の循環を構築している点が高く評価された。



到着初日に執り行われる入郷式では神様に入郷報告と安全祈願を行う

日本YEG 全国会長会議

406単会の会長が集結 小林会頭が講話

日本商工会議所青年部（日本YEG）は4月24日、全国会長会議をハイブリッド形式で開催した。当日は、各地商工会議所青年部（YEG）の単会会長ら約650人が参加し、日本商工会議所の小林会頭が講話を行った。

小林会頭は、日本YEGへ「日本各地において、若者に好奇心を持ってもらう文化をつかってほしい」とエールを送り、自己変革および同業他社や地方行政との「価値共創（1+1を3にするアプローチ）」の重要性について説明した。

日本YEGの吉田昌宜会長は、「全国416単会中406単会会長らが集結したことは大きな成果

である」とアピールした。また、同会議で行われる会員増強事例の共有およびグループディスカッションを通して、「参加者が単会運営を見つめ直す機会になる」と述べた。



講話をする小林会頭（右）と吉田会長



最低賃金に関する要望

経営の実態を踏まえ検討を 厚労副大臣に手交

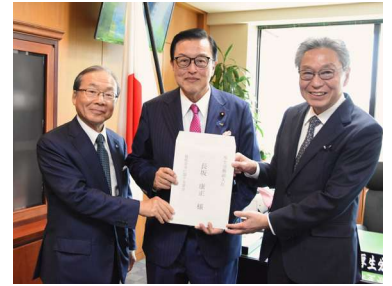
日本・東京商工会議所は4月16日、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会との4団体連名で「最低賃金に関する要望」を取りまとめた。「中小企業・小規模事業者の経営実態を踏まえた政府方針への見直し」など5点を要望項目として掲げている。同22日には日商・東商の小山田隆労働委員長、東商の矢口敏和労働委員長が厚生労働省の長坂康正副大臣を訪ね、要望書を手交。要望の実現を強く働きかけた。

要望書では、現在の政府目標である「2020年代に全国加重平均1500円」について「中小企業・小規模事業者の経営実態から著しく乖離（かいり）している」と指摘。中小企業・小規模事業者団体も含む労使の代表が意見を述べる機会を設け、企業の支払い能力などの実態を十分踏まえた水準に見直すよう求めている。また、最低賃金は労働者の生活を保障するセーフティーネットとして、赤字企業も含めて全ての企業に強制力をもって適用されることから、最低賃金を賃上げ実現の政策手段とし

て用いることは「適切ではない」と断じている。

昨年の方最低賃金審議会において、近隣県との競争意識などから中央が示した目安を大幅に上回る改定が相次いだ点については「法定3要素（賃金・生計費・支払い能力）に基づく審議の原則をゆがめている」と強い懸念を表明。中小企業の実態と乖離した引き上げは、設備投資の抑制や雇用の喪失などを招き、かえって地域経済の減退を招く恐れがあることから「中央・地方の審議会において、3要素のデータに基づく熟議を徹底すべき」と要請している。

長坂副大臣は最低賃金を含む政府決定への対応について、今後の消費者物価上昇率や経営状況といった経済動向を踏まえ、夏の成長戦略取りまとめに向けて具体的に検討していく意向を示した。



長坂副大臣（中央）に要望書を手交する小山田委員長（右）と矢口委員長

日本商工会議所発行の旬刊紙・月刊誌のご案内

会議所ニュース

日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。



購読申し込み、
広告出稿のご案内
はこちら



月3回発行（1日、11日、21日）
1部187円 年間購読料4,400円（送料・税込）

地域・中小企業を元気にする

月刊石垣

日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる好事例を紹介する特集や各界で活躍する著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。



購読申し込み、
広告出稿のご案内
はこちら



毎月10日発行
1部605円 年間購読料5,700円（送料・税込）



日商 ASSIST Biz



お問い合わせ先

三原商工会議所

所在地：広島県三原市皆実4-8-1

電話：0848-62-6155 F A X：0848-62-5900

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。